



新久小学校だより

令和7年度第11号
令和8年3月2日発行
児童数 235名

地域・家庭との絆の中で 子どもの夢を育む学校
～ 豊かな心の子 たくましい体力の子 たしかな学力の子 ～

自分たちで創り上げた最高学年の誇り

3月に入り、令和7年度の締めくくりの時期となりました。学校生活をリレーに例えると3月は「バトンゾーン」にあたります。明後日3月4日には「6年生を送る会」が予定されており、どの学年も6年生への感謝の気持ちを伝えようと、一生懸命に準備や練習に励んでいます。体育館が温かな思いで満たされる一日になることを、私も心から楽しみにしています。



6年生を送る会練習風景

今年度の6年生は、入学してから6年間クラス替えがなく、ずっと1クラスという環境の中で、家族のように密度の濃い時間を過ごしてきました。時には、距離が近すぎるゆえの衝突や、個性がぶつかり合ったりお互いの思いがうまく伝わらずに立ち止まったりすることもありましたが、それもまた、互いに深く関わり合ってきたからこそその「成長の足跡」であったと感じています。

そんな彼らは、最上級生として実に立派な「背中」を見せてくれました。全校児童が集う朝会や集会を自分たちで進めたり、低学年を教室まで迎えに行き優しくリードして整列させたり。こうした「主体的な姿」は、本校の新しい伝統としてしっかりと下級生たちの目に焼き付いています。

さらに、先月行われた社会科見学では、昨年度からの挑戦を引き継ぎ、貸切バスではなく公共交通機関を利用して国会議事堂等へ向かいました。事前の下調べから、当日の『自分たちの足で目的地へ向かう』という緊張感、やり遂げた時の充実感。そんな一步一步の歩みが、彼らを一回りも二回りも大きく、たくましく成長させました。

このバトンを引き継ぐ5年生も、最初は今の6年生のように上手には走れないかもしれませんが、心配はいりません。ゆっくりでも、自分たちらしい「色」を出しながら走ってくれば大丈夫です。6年生が残してくれた「自分たちで考え、行動する」という挑戦のバトンを、大切に受け取ってくれると信じています。

新久小学校では、このようにして44年間、バトンをつないできました。リレーの極意は「感謝と信頼」です。バトンを託した側は、次の走者を信じて最後まで応援し、受け取った側は、つないでくれたことに感謝して全力を尽くす。この繰り返しが、学校という組織に魂を吹き込みます。

来たる3月24日(火)、6年生が本校を卒業します。翌々日の26日(木)には今年度の修了式を迎えます。残された日々、一年間のまとめをしっかりと行い、輝かしい令和8年度へとつないでまいります。保護者の皆様、地域の皆様、一年間の温かいご支援、誠にありがとうございました。

2月の様子

2月12日 薬物乱用防止教室
6年生を対象に、学校薬剤師さんが薬とのかかわり方について話をしてくれました。



2月13日 6年社会科見学
電車を乗り継いで、国会議事堂と科学技術館を見学してきました。



2月18日 ありがとうの会
日頃お世話になっている方に、児童から花束やお手紙を渡しました。ボランティアの皆様、いつもありがとうございます。



2月18日 たてわり遊び
6年生が計画して進めてくれるのは今回が最後でした。

2月15日 性に関する指導
4年生が、思春期保健相談士さんから、体と心の変化について学びました。



2月24・25・27日
授業参観・懇談会
大勢の方が来校してくださいました。ありがとうございました。

学校関係者評価の結果について

学校運営協議会委員の方々に、東金子中学校区の子供たちについて評価をしていただきました。いずれも高い結果となりました。引き続き、全教職員が一丸となり、保護者の皆様や地域の皆様と一緒に教育活動を進めてまいります。

	質問	評価			
		A そう思う	B どちらかといえばそう思う	C どちらかといえば、そう思わない	D そう思わない
1	子どもは明るく、表情がよい。	A 100%	B 0%	C 0%	D 0%
2	子どもは、服装・挨拶・マナーがきちんとしている。	A 25%	B 75%	C 0%	D 0%
3	子どもは、真面目に授業を受けている。	A 75%	B 25%	C 0%	D 0%
4	教師は、分かりやすく熱心に教えている。	A 75%	B 25%	C 0%	D 0%
5	教育環境は、整頓されて綺麗である。	A 50%	B 50%	C 0%	D 0%
6	地域での子どもの様子は良好である。	A 25%	B 75%	C 0%	D 0%
7	地域での本校の評判(A良い⇔D悪い)	A 75%	B 25%	C 0%	D 0%